

滋賀県高島市における、地域生活支援のための住民と協働した**多職種連携と地域共同ケア拠点**形成事業（赤い羽根福祉基金助成事業）

- この10年間、住民と共に推進してきた、高島市の地域福祉の集大成として、集落、小学校区、旧町村域に必要な資源や仕組みを配置し、地域の助けあい活動の完成を目指すと同時に、関係機関の包括化を進め、単なる多職種連携ではない、地域とつながった総合相談支援体制を実現していく。

- ①多様な専門機関の横断チームによる「**総合相談支援機能**」と、食や物販を通じた「**生活支援機能**」を併せ持つ『**たかしま・まるごとキャラバン隊**』を結成し、新たに設定する小学校区の拠点に出向き、アウトリーチ型総合相談支援をおこなう。
 - ②人口減少、少子高齢化が進む集落の見守りネットワークを基盤としつつ、**小学校区**で住民福祉協議会や社福法人等と連携した「**地域共同ケア拠点**」を展開。空き家や福祉施設等を活用し、居場所、保健・健康、なんでも相談、物販、仕事づくりをおこなっていくことで、集落機能の低下を補完する。
 - ③旧町村（中学校区）では、住民福祉協議会が中心となって、地域の課題に基づく**生活支援体制づくり**や、市外の大学や企業と連携した**ボランティア活動**をコーディネートし、外部の力と積極的に協働した支援ネットワークを構築。
 - ④本事業を将来にわたって持続可能な活動とするための**共同募金運動を展開**し、住民の参加と募金の募集をおこなう。
- とりわけ、②の小学校区圏域が、**本助成事業における開発領域**であり、**住民、当事者、専門職の三者の協働実践**を通じた**相互エンパワメント**を高め、集落、小学校区、旧町村域の活動をつなぎ、官民協働を強化していく。

高島市における、多職種連携と地域共同ケア拠点の展開イメージ

